

平成27年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	福島県		市町村類型	I-2	指定団体等の指定状況		区分		平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	区分		平成27年度(千円・%)	平成26年度(千円・%)
					財政健全化等	×	歳入総額	27,543,813	23,891,011	実質収支比率	11.4	9.9		
市町村名	本宮市		地方交付税種地	1-2	財源超過	×	歳出総額	26,368,648	22,777,005	経常収支比率	87.4	89.4	(93.3)	(96.8)
					首都	×	歳入歳出差引	1,175,165	1,114,006	(※1)				
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	250,367	325,405	標準財政規模	8,143,887	8,001,362		
						×	実質収支	924,798	788,601	財政力指数	0.63	0.61		
人口	27年国調(人)	30,924	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	136,197	216,703	公債費負担比率	9.0	10.2		
	22年国調(人)	31,489			過疎	×	積立金	204,519	245,394	健全化判断比率				
	増減率(%)	-1.8			山振	×	繰上償還金	1,450	66,122	実質赤字比率				
住民基本台帳人口(※7)	28.01.01(人)	30,760	第1次	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	625,604	684,329	連結実質赤字比率			
	うち日本人(人)	30,617		1,052	1,283	指数表選定	○	実質単年度収支	-283,438	-156,110	実質公債費比率	11.1	12.8	
	27.01.01(人)	30,857	第2次					基準財政収入額	3,914,358	3,587,182	資金不足比率(※4)			
	うち日本人(人)	30,708		5,356	5,797			基準財政需要額	6,077,834	5,762,436				
	増減率(%)	-0.3	第3次					標準税収入額等	4,985,709	4,609,396				
	うち日本人(%)	-0.3		8,716	8,599			経常経費充当一般財源等	7,171,275	7,214,338				
面積(km ²)	88.02			57.6	54.6		歳入一般財源等	10,666,563	10,792,155					
人口密度(人/km ²)	351													
世帯数(世帯)	10,049													
職員の状況														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	15,229,235	14,828,649			
	市区町村長	1	9,200		一般職員	224	702,240	3,135	うち公的資金	5,284,886	5,205,362			
	副市区町村長	1	7,000		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	14,588,796	20,216,871			
	教育長	1	6,440		うち技能労務職員	4	12,748	3,187	収益事業収入	-	-			
	議会議長	1	4,140		教育公務員	19	63,431	3,338	土地開発基金現在高	92,220	92,147			
	議会副議長	1	3,220		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	1,313,078	1,334,163			
	議会議員	18	3,000		合計	243	765,671	3,151	減債基金	251,595	176,414			
					ラスバイレス指数				100.3	財政調整基金	2,583,185	3,248,278		
										其他特定目的基金				

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7：住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）					歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税	4,064,232	14.8	4,064,232	52.9	普通税	4,064,232	100.0	-	議会費	184,755	0.7	50	184,755	
地方譲与税	182,298	0.7	182,298	2.4	法定普通税	4,064,232	100.0	-	総務費	1,718,268	6.5	93,069	1,427,482	
利子割交付金	5,091	0.0	5,091	0.1	市町村民税	1,621,232	39.9	-	民生費	15,626,521	59.3	1,550,290	2,016,708	
配当割交付金	12,716	0.0	12,716	0.2	個人均等割	51,608	1.3	-	衛生費	1,063,590	4.0	137,957	885,470	
株式等譲渡所得割交付金	10,313	0.0	10,313	0.1	所得割	1,192,377	29.3	-	労働費	13,973	0.1	-	13,962	
地方消費税交付金	600,809	2.2	600,809	7.8	法人均等割	108,658	2.7	-	農林水産業費	569,882	2.2	61,866	357,015	
ゴルフ場利用税交付金	1,444	0.0	1,444	0.0	法人税割	268,589	6.6	-	商工費	797,036	3.0	28,521	747,731	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2,080,169	51.2	-	土木費	2,481,638	9.4	1,550,461	1,041,832	
自動車取得税交付金	33,233	0.1	33,233	0.4	うち純固定資産税	2,079,993	51.2	-	消防費	532,956	2.0	67,702	465,649	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	80,708	2.0	-	教育費	2,291,105	8.7	951,362	1,333,340	
地方特例交付金	16,102	0.1	16,102	0.2	市町村たばこ税	281,787	6.9	-	災害復旧費	124,085	0.5	-	60,949	
地方交付税	3,670,581	13.3	2,636,559	34.3	鉱産税	-	-	-	公債費	964,839	3.7	-	956,505	
普通交付税	2,636,559	9.6	2,636,559	34.3	特別土地保有税	336	0.0	-	諸支出金	-	-	-	-	
特別交付税	414,332	1.5	-	-	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
震災復興特別交付税	619,690	2.2	-	-	目的税	-	-	-	歳出合計	26,368,648	100.0	4,441,278	9,491,398	
(一般財源計)	8,596,819	31.2	7,562,797	98.4	法定目的税	-	-	-						
交通安全対策特別交付金	5,495	0.0	5,495	0.1	入湯税	-	-	-						
分担金・負担金	19,112	0.1	-	-	事業所税	-	-	-						
使用料	238,924	0.9	36,196	0.5	都市計画税	-	-	-						
手数料	20,278	0.1	-	-	水利地益税等	-	-	-						
国庫支出金	1,594,681	5.8	-	-	法定外目的税	-	-	-						
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-						
都道府県支出金	12,913,212	46.9	-	-	合計	4,064,232	100.0	-						
財産収入	51,175	0.2	382	0.0										
寄附金	13,360	0.0	-	-										
繰入金	1,940,746	7.0	-	-	区分	平成27年度	平成26年度							
繰越金	714,006	2.6	-	-	徴収率	99.0	90.1	98.7	89.3					
諸収入	193,305	0.7	81,956	1.1	現・計	98.7	95.4	98.2	94.7					
地方債	1,242,700	4.5	-	-	(%)	99.1	92.7	98.8	91.8					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	合計	2,000,596	274,466							
うち臨時財政対策債	521,600	1.9	-	-	公営事業等への繰出	572,705	147,610							
歳入合計	27,543,813	100.0	7,686,826	100.0	宅地造成	344,447	3,931							
					下水道	92,027	6,968							
					上水道	-	94							
					工業用水道	273,913	109							
					国民健康保険	717,504	275							
					その他	-	-							

国民健康保険事業会計の状況				
区分	平成27年度	平成26年度	増減	増減率
合計	2,000,596	274,466	1,726,130	628.2%
実質収支	572,705	147,610	425,095	288.0%
再差引収支	344,447	3,931	340,516	8663.0%
加入世帯数(世帯)	92,027	6,968	85,059	1217.4%
被保険者数(人)	-	94	-94	-100.0%
被保険者	273,913	109	273,804	2511.9%
1人当り	717,504	275	717,229	2590.3%
保険税(料)収入額	-	-	-	-
国庫支出金	-	109	-109	-100.0%
保険給付費	-	275	-275	-100.0%

目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	184,755	0.7	50	184,755
総務費	1,718,268	6.5	93,069	1,427,482
民生費	15,626,521	59.3	1,550,290	2,016,708
衛生費	1,063,590	4.0	137,957	885,470
労働費	13,973	0.1	-	13,962
農林水産業費	569,882	2.2	61,866	357,015
商工費	797,036	3.0	28,521	747,731
土木費	2,481,638	9.4	1,550,461	1,041,832
消防費	532,956	2.0	67,702	465,649
教育費	2,291,105	8.7	951,362	1,333,340
災害復旧費	124,085	0.5	-	60,949
公債費	964,839	3.7	-	956,505
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	26,368,648	100.0	4,441,278	9,491,398

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	4,682,069	17.8	3,414,539	3,364,999	41.0
人件費	2,167,999	8.2	2,025,816	2,019,462	24.6
うち職員給	1,406,877	5.3	1,277,195	-	-
扶助費	1,549,231	5.9	432,218	389,732	4.7
公債費	964,839	3.7	956,505	955,805	11.6
元利償還金	964,638	3.7	956,304	955,604	11.6
うち元金	842,114	3.2	835,430	834,730	10.2
うち利子	122,524	0.5	120,874	120,874	1.5
一時借入金利子	201	0.0	201	201	0.0
その他の経費	17,121,216	64.9	5,572,298	3,806,276	46.4
物件費	12,551,180	47.6	1,451,191	1,272,955	15.5
維持補修費	91,594	0.3	80,173	80,038	1.0
補助費等	1,732,035	6.6	1,547,791	1,349,354	16.4
うち一部事務組合負担金	885,503	3.4	885,503	879,492	10.7
繰出金	1,908,569	7.2	1,723,551	1,022,929	12.5
積立金	751,838	2.9	683,592	-	-
投資・出資金・貸付金	86,000	0.3	86,000	81,000	1.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	4,565,363	17.3	504,561	-	-
うち人件費	15,676	0.1	15,676	-	-
普通建設事業費	4,441,278	16.8	443,612	-	-
うち補助	3,881,660	14.7	175,862	-	-
うち単独	540,725	2.1	251,657	-	-
災害復旧事業費	124,085	0.5	60,949	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	26,368,648	100.0	9,491,398	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成27年度 福島県本宮市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	27,544	26,369	1,175	930	178	15,229	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成27年度

福島県本宮市

人口	30,760	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	30,617	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	88.02	km ²	実質公債費比率	11.1	%
歳入総額	27,543,813	千円	将来負担比率	106.0	%
歳出総額	26,368,648	千円	市町村類型	H23 I-1 H24 I-1 H25 I-1	
実質収支	924,798	千円	(年度毎)	H26 I-1 H27 I-2	
標準財政規模	8,143,887	千円			
地方債現在高	15,229,235	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力

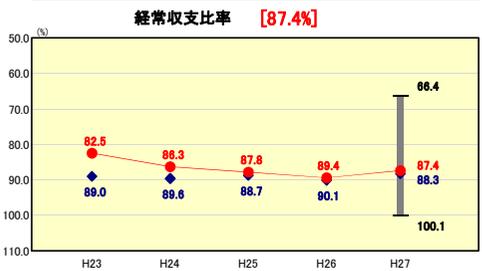
類似団体内順位 20/67 全国平均 0.50 福島県平均 0.45



財政力指数の分析
 基準財政収入額が、復興需要の伸びにより増加した。その影響により、財政力指数は前年度比0.02ポイント増となった。
 類似団体平均を上回っているが、引き続き、税収の徴収向上を中心に歳入の確保に努める。

財政構造の弾力性

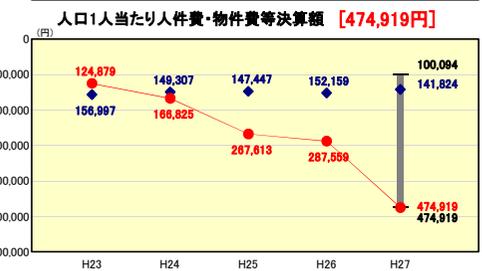
類似団体内順位 26/67 全国平均 90.0 福島県平均 84.6



経常収支比率の分析
 経常一般財源のうち、復興需要の伸びにより税収が増加したことにより、前年度比2.0ポイント減となった。
 類似団体を下回っているが、今後も経常経費削減努力と税収の徴収率向上を図り、健全な財政運営の維持に努める。

人件費・物件費等の状況

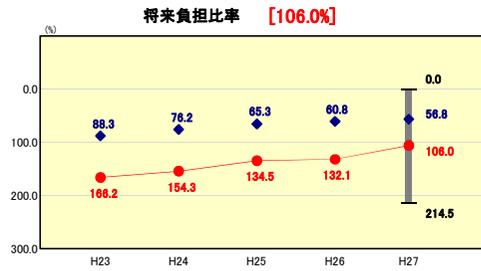
類似団体内順位 67/67 全国平均 121,920 福島県平均 264,130



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析
 前年度と比較し、187,360円増加している。これは、物件費において、除染業務委託料の増加によるものである。今後も経常的な物件費の抑制と定員適正化の順守に努め当該経費を抑制する。

将来負担の状況

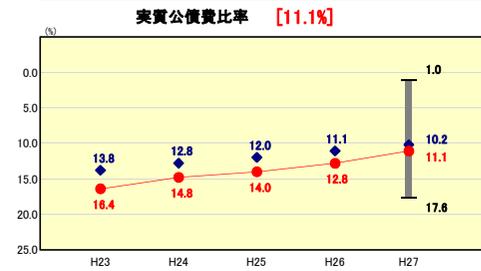
類似団体内順位 54/67 全国平均 38.9 福島県平均 2.6



将来負担比率の分析
 将来負担率が高い要因は、債務負担行為支出額、一部事務組合への公債費への充当される負担金、公営企業会計への公債費に充当される繰出金が多いためである。本年度の率は106.0%と前年度を26.1ポイント下回った。基準内ではあるが高い数値であり、今後も、市の自主的財政健全化計画に基づき、計画的な市債の償還に努め、当該比率を減少させる。

公債費負担の状況

類似団体内順位 40/67 全国平均 7.4 福島県平均 7.6



実質公債費比率の分析
 3年平均で、11.1%と前年度1.7ポイント下回り、市の自主的財政健全化計画を上回るペースで減少傾向にある。今後も、市の自主的財政健全化計画に基づき、計画的な市債の発行と債務の償還により適正値まで減少させる。

定員管理の状況

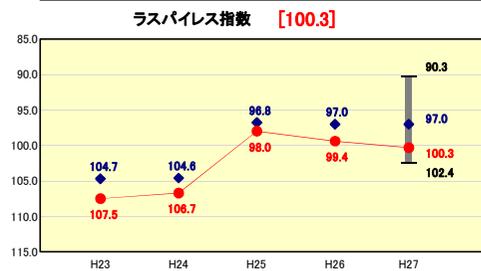
類似団体内順位 32/67 全国平均 6.96 福島県平均 7.65



人口千人当たり職員数の分析
 人口千人当たりの職員数は7.90人で、類似団体平均値比較では、▲0.31人となっている。職員の年齢構成が影響しているため、中途採用等の計画的な実施により、職員の将来的な年齢構成のバランス確保に努める。

給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 62/67 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.3



ラスパイレース指数の分析
 ラスパイレース指数は100.3%で、類似団体平均値比較では3.3%上回っている。職員の年齢構成が影響しているため、中途採用等の計画的な実施により、職員の将来的な年齢構成のバランス確保に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

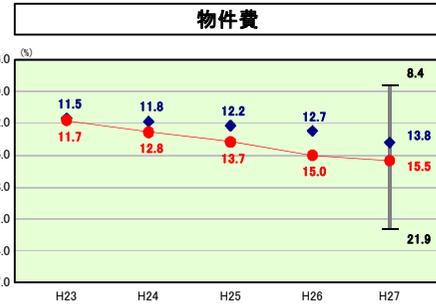
福島県本宮市

経常収支比率の分析

人口	30,760	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	30,617	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	88.02	km ²	実質公債費比率	11.1	%
歳入総額	27,543,813	千円	将来負担比率	106.0	%
歳出総額	26,368,648	千円	市町村類型	H23 I-1 H24 I-1 H25 I-1	
実質収支	924,798	千円	(年度毎)	H26 I-1 H27 I-2	
標準財政規模	8,143,887	千円			
地方債現在高	15,229,235	千円			

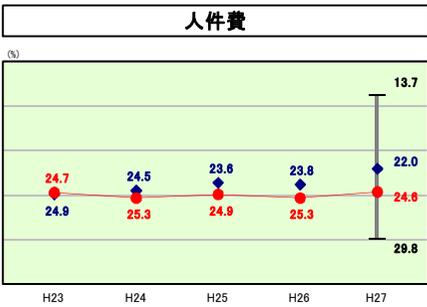
● 当該団体の値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 50/67 全国平均 14.3 福島県平均 15.0

物件費の分析欄
前年度比較で0.5ポイント増加しており、毎年度上昇している。経常経費の削減努力をしているが、今後、より一層の削減に努める。



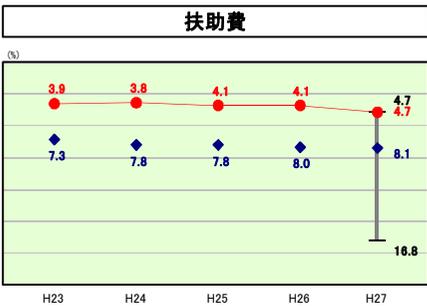
類似団体内順位 48/67 全国平均 23.3 福島県平均 22.4

人件費の分析欄
前年度比較で0.7ポイント減となった。類似団体との比較では2.6ポイント上回っている。今後も、自主的財政健全化計画及び定員適正化計画に基づき人件費の抑制に努める。



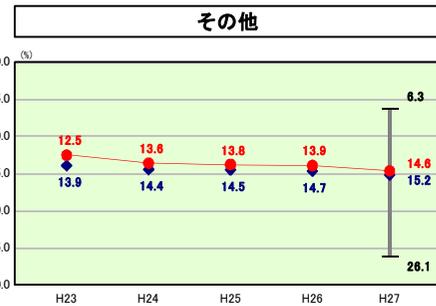
類似団体内順位 56/67 全国平均 10.0 福島県平均 9.9

補助費等の分析欄
前年度比較で1.9ポイント減少した。今後は、市単独補助金について既設補助金の徹底した見直しを進め、また、国庫補助にかかる市単独での上乗せ補助金についても、社会経済情勢の変化等を踏まえ見直しを行うこととする。
加えて加盟団体への補助金については、団体等の会計の前年度繰越額及び会計年度末見込みを確認し、当該年度の補助の必要性を精査する。



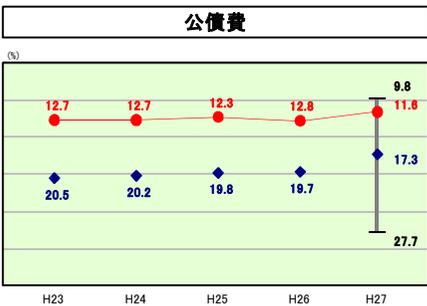
類似団体内順位 1/67 全国平均 11.8 福島県平均 7.4

扶助費の分析欄
前年度比較で0.6ポイント増となった。類似団体との比較では▲3.4となっているが、福祉関連経費は上昇傾向になると見込まれるため、今後も注視していく。



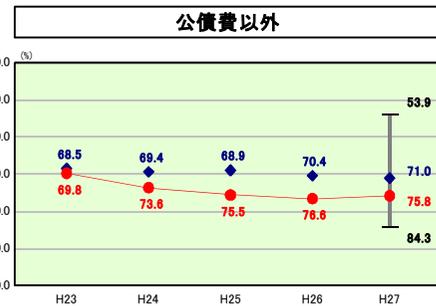
類似団体内順位 27/67 全国平均 13.2 福島県平均 14.8

その他の分析欄
前年度比較で0.7ポイント増、類似団体平均値比較▲0.6ポイント。維持補修の増加及び繰出金の増加が前年度比増の要因である。維持補修については計画的に進めているところであるが、今後も市の自主的財政健全化計画に基づき、計画的な事業執行に努める。また繰出金についても、特別会計での経費削減に努め、普通会計の負担額を減らしていく。



類似団体内順位 4/67 全国平均 17.4 福島県平均 15.1

公債費の分析欄
前年度比較で1.2ポイント減となった。類似比較団体平均値比較では、▲5.7ポイントとなっているが、今後も後年度財政負担を十分考慮しながら、計画的な地方債の発行及び償還を行う。



類似団体内順位 45/67 全国平均 72.8 福島県平均 69.5

公債費以外の分析欄
公債費以外に係る経常収支比率は、前年度比0.8ポイント減となっており、また、類似団体平均値を4.8ポイント上回っている。今後、物件費等の経費の削減と合理化を図り、当該比率の減少に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

福島県本宮市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	2,167,999	70,481	71,916	▲ 2.0
賃金 (物件費)	314,006	10,208	7,911	▲ 29.0
一部事務組合負担金 (補助費等)	323,350	10,512	7,787	▲ 35.0
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	906	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	13	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	64,658	2,102	3,077	▲ 31.7
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	15,676	510	1,653	▲ 69.1
▲退職金	▲ 217,946	▲ 7,085	▲ 7,483	▲ 5.3
合計	2,667,743	86,728	85,779	▲ 1.1

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	7.90	8.21	▲ 0.31
ラスパイレース指数	100.3	97.0	▲ 3.3

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

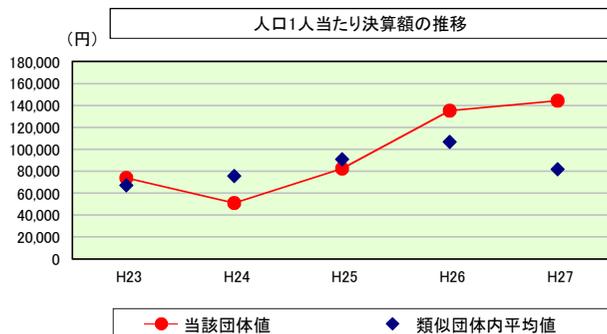


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	963,188	31,313	51,963	▲ 39.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	100,000	3,251	71	▲ 4,478.9
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	347,124	11,285	20,847	▲ 45.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	99,922	3,248	3,529	▲ 8.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	53,350	1,734	828	▲ 109.4
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	201	7	6	▲ 16.7
▲特定財源の額	▲ 7,423	▲ 241	▲ 4,386	▲ 94.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 890,537	▲ 28,951	▲ 50,220	▲ 42.4
合計	665,825	21,646	22,638	▲ 4.4

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額			
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)
H23	2,303,383	73,789	41.1	67,201	▲ 22.2
うち単独分	1,638,054	52,475	90.9	35,210	▲ 14.6
H24	1,588,601	51,080	▲ 30.8	75,709	▲ 12.7
うち単独分	911,468	29,308	▲ 44.1	35,212	0.0
H25	2,555,368	82,490	61.5	90,961	▲ 20.1
うち単独分	849,149	27,411	▲ 6.5	37,720	▲ 7.1
H26	4,167,258	135,051	63.7	106,614	▲ 17.2
うち単独分	515,523	16,707	▲ 39.1	45,545	▲ 20.7
H27	4,441,278	144,385	6.9	81,768	▲ 23.3
うち単独分	540,725	17,579	5.2	37,917	▲ 16.7
過去5年間平均	3,011,178	97,359	28.5	84,451	▲ 0.9
うち単独分	890,984	28,696	1.3	38,321	▲ 0.7

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成27年度

福島県本宮市

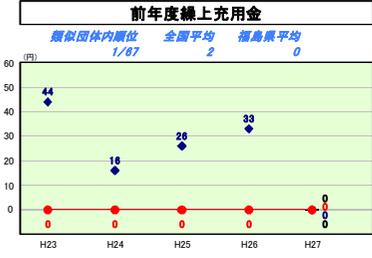
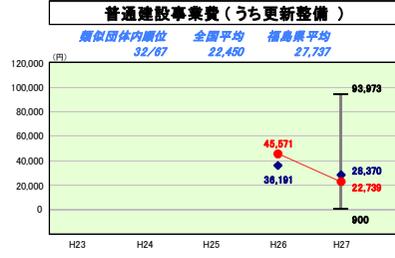
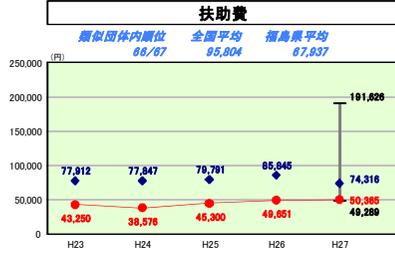
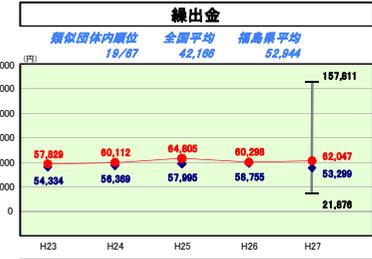
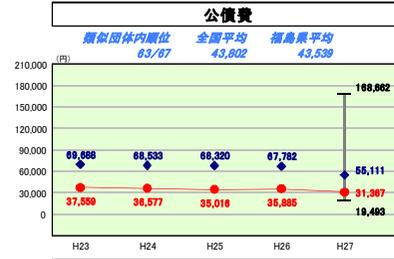
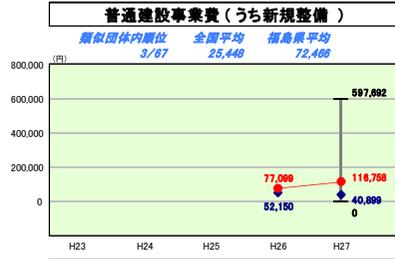
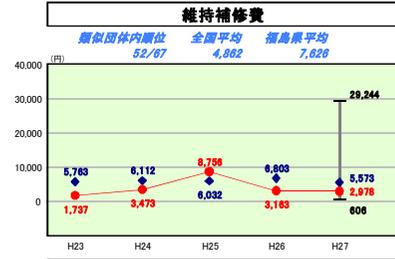
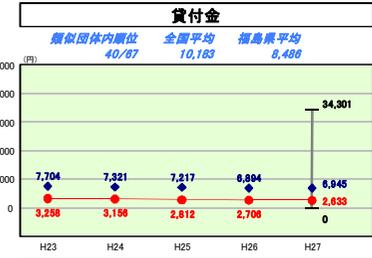
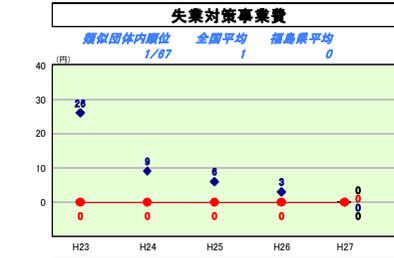
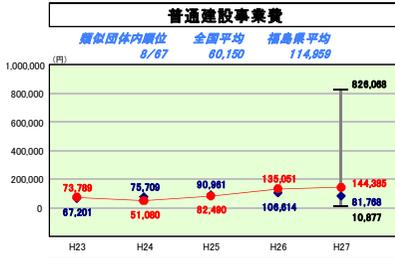
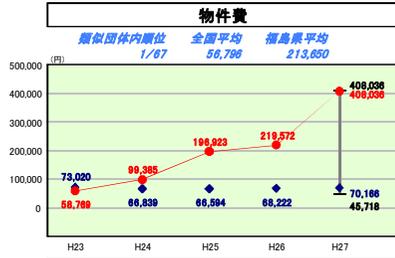
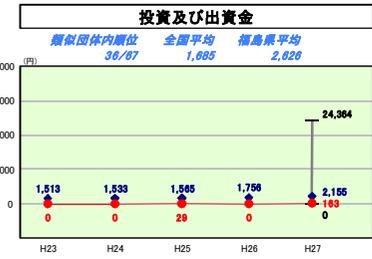
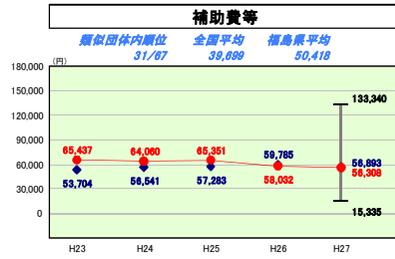
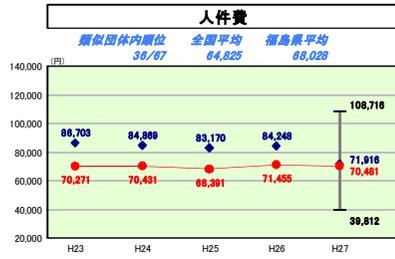
人口	30,760	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	30,617	人(H28.1.1現在)	連続実質赤字比率	-	%
面積	88.02	km ²	実質公債費比率	11.1	%
歳入総額	27,543,813	千円	特長負担比率	106.0	%
歳出総額	26,388,648	千円			
実質収支	924,790	千円	市町村類型	H23 I-1 H24 I-1 H25 I-1	
標準財政規模	8,143,887	千円	(年度毎)	H26 I-1 H27 I-2	
地方債残高	15,228,235	千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ⊥ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析概

人件費、維持補修費、扶助費、補助費、公債費、投資及び出資金及び貸付金については、類似比較団体平均値比較で下回っており、今後後年度財政負担を十分考慮しながら、歳出抑制に努める。

物件費、東日本大震災以後、住宅除染業務委託料等の増加により、類似比較団体平均値比較を大きく上回っている。住宅除染業務委託料のピークは平成28年度と捉えているが、中間貯蔵施設への輸送業務委託料等関連経費の支出は継続することが想定されるため、震災前の状況に回復するにはしばらく時間を要すると見込んでいる。

普通建設事業費、東日本大震災以後、放射線対策関連工事、復興公営住宅建築工事、小中学校校舎耐震補修工事等の増加により、類似比較団体平均値比較を上回っている。復興公営住宅建築工事及び学校校舎耐震補修工事については平成28年度に事業完了するため、以後類似団体平均値程度に回復していくと見込んでいる。

災害復旧費、東日本大震災以後、平成23~24年度と大規模な災害復旧事業が続いたが、平成25年度はそれらの事故継続し分と併せ、8月のツクリ等災害による被害に対応した支出により、類似比較団体平均値比較を上回っている。今後後年度財政負担を十分考慮し、繰越により平成26~27年度まで事業完了時期が延長している。

積立金、東日本大震災以後、復興関連基金や復興公営住宅整備に関連する基金への積立により、類似比較団体平均値比較を上回っている。今後は後年度財政負担を十分考慮し、減価基金への積立に努める。

繰出金、国民健康保険事業特別会計に対する財政支援繰出金等により、類似比較団体平均値比較を上回っている。今後後年度財政負担を十分考慮しながら、歳出抑制に努める。

失業対策事業費及び前年度繰上充用金については支出実績なし。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

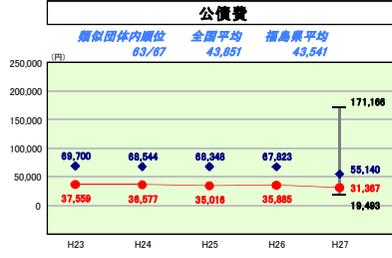
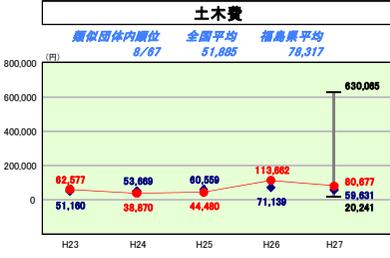
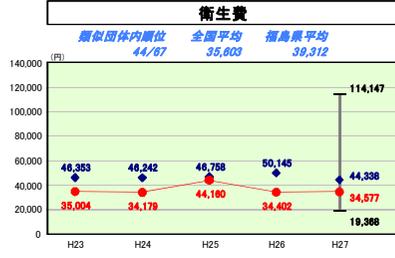
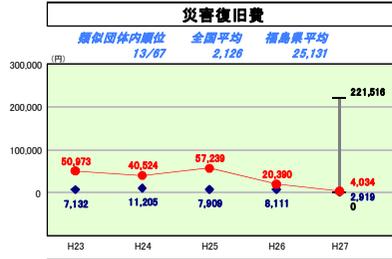
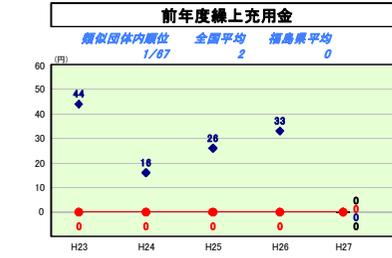
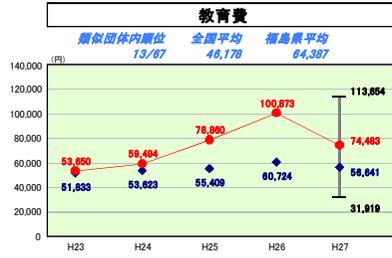
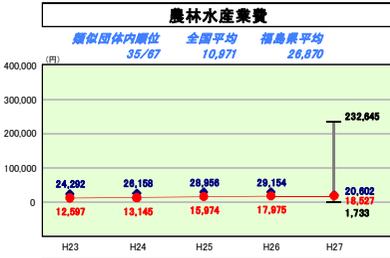
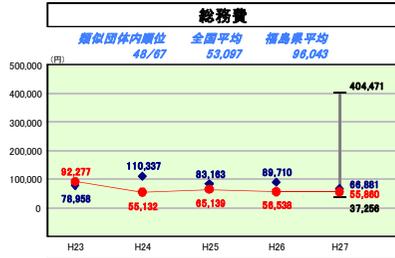
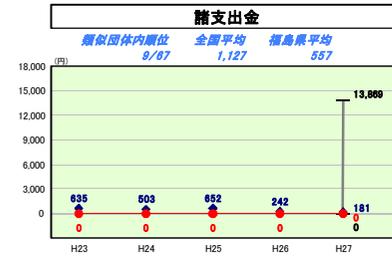
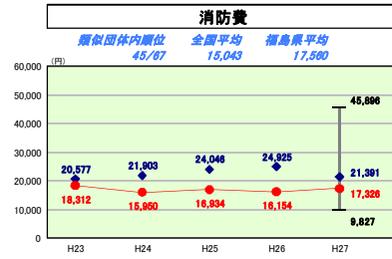
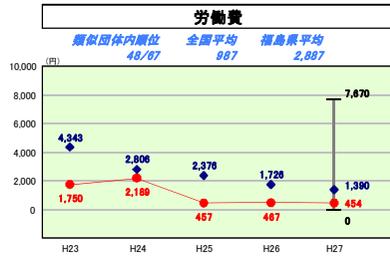
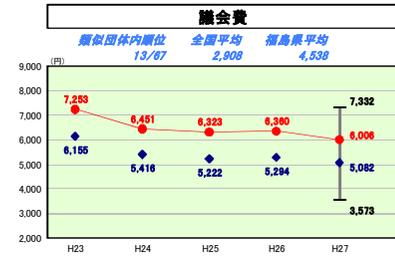
平成27年度

福島県本宮市

人口	30,760	人(H28.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	30,617	人(H28.1.1現在)	繰越実収赤字比率	-	%
面積	88.02	km ²	実収公債費比率	11.1	%
歳入総額	27,543,813	千円	市町村負担比率	106.0	%
歳出総額	26,388,648	千円	市町村類型	H23 I-1 H24 I-1 H25 I-1	
実収収支	924,790	千円	(年度毎)	H26 I-1 H27 I-2	
標準財政規模	8,143,887	千円			
地方債残高	15,226,235	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

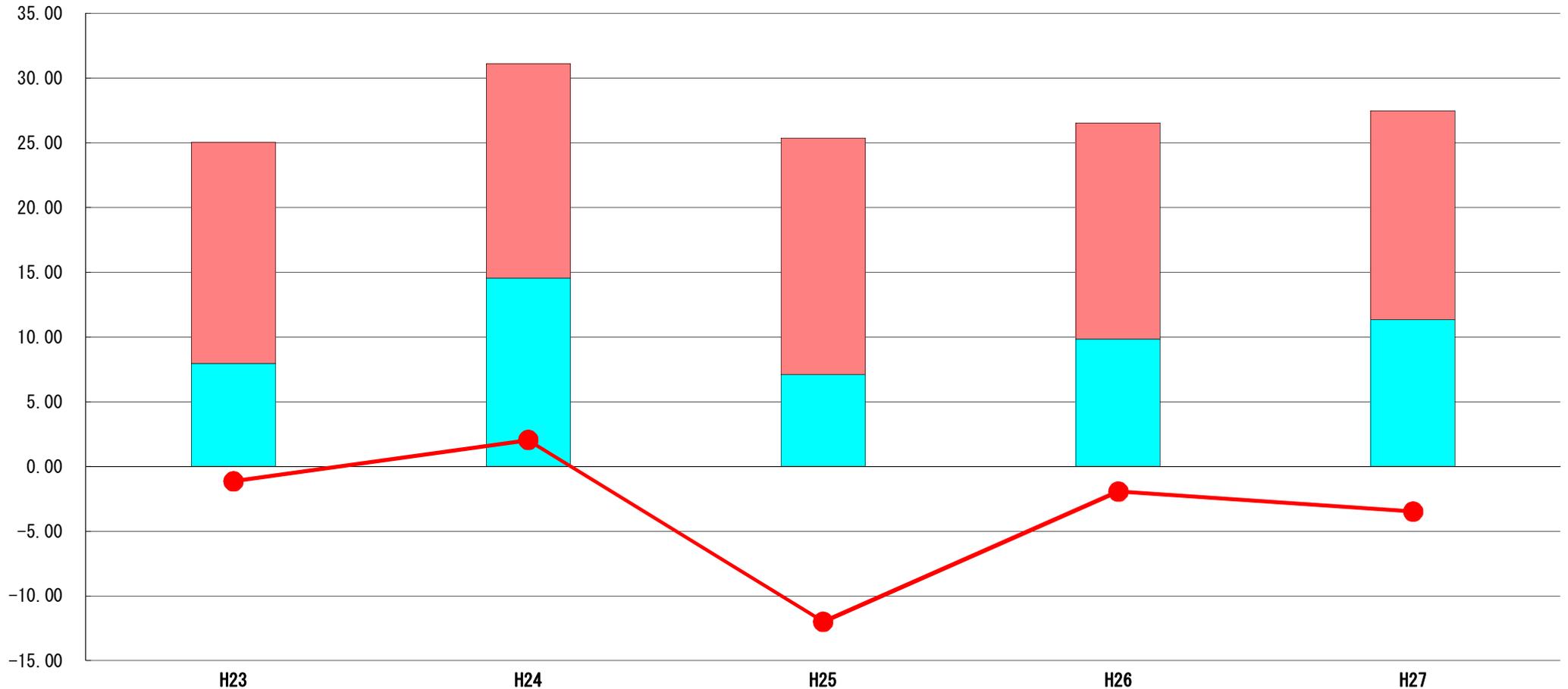
公債費: 類似比較団体平均値比較で下回っている。また、市の自主的財政健全化計画を上回るペースで減少傾向にある。今後も、市の自主的財政健全化計画に基づき、計画的な市債の発行と償還により健全財政に努める。
 労働費、衛生費、労働費、農林水産業費及び消防費については、類似比較団体平均値比較で下回っており、今後も後年度財政負担を十分考慮しながら、歳出抑制に努める。
 民生費: 東日本大震災以後、住宅除染業務委託料等の増加により、類似比較団体平均値比較で大きく上回っている。住宅除染業務委託料のピークは平成28年度と捉えているが、中間貯蔵施設への輸送業務委託料等関連経費の支出は継続することが想定されるため、震災前の状況に回帰するにはしばらく時間を要すると見込んでいる。
 土木費: 復興公営住宅建築工事等の増加により、類似比較団体平均値比較を上回っている。前述の、復興公営住宅建築工事及び小中学校校舎耐震補強改修工事については平成28年度に事業完了するため、以後類似団体平均値程度に推移していくと見込んでいる。
 教育費: 小中学校校舎耐震補強改修工事等の増加により、類似比較団体平均値比較を上回っている。前述の、小中学校校舎耐震補強改修工事については平成28年度に事業完了するため、以後類似団体平均値程度に推移していくと見込んでいる。
 災害復旧費: 東日本大震災以後、平成23~24年度と大規模な災害復旧事業が続いたが、平成25年度はそれらの事故総しんと合わせて、8月のハリコブ台風や台風被害に見舞われ、類似比較団体平均値比較を上回っている。水路等の災害復旧作業は農閑期に限られるため、繰越により平成26~27年度まで事業完了時期が延長している。
 議会費、商工費: 類似比較団体平均値比較で上回っている。今後も後年度財政負担を十分考慮しながら、歳出抑制に努める。 諸支出金及び前年度繰上充用金については支出実績なし。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成27年度

福島県本宮市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H23	H24	H25	H26	H27
 財政調整基金残高		17.07	16.54	18.28	16.67	16.12
 実質収支額		7.96	14.56	7.10	9.86	11.36
 実質単年度収支		▲ 1.15	2.03	▲ 12.00	▲ 1.95	▲ 3.48

分析欄

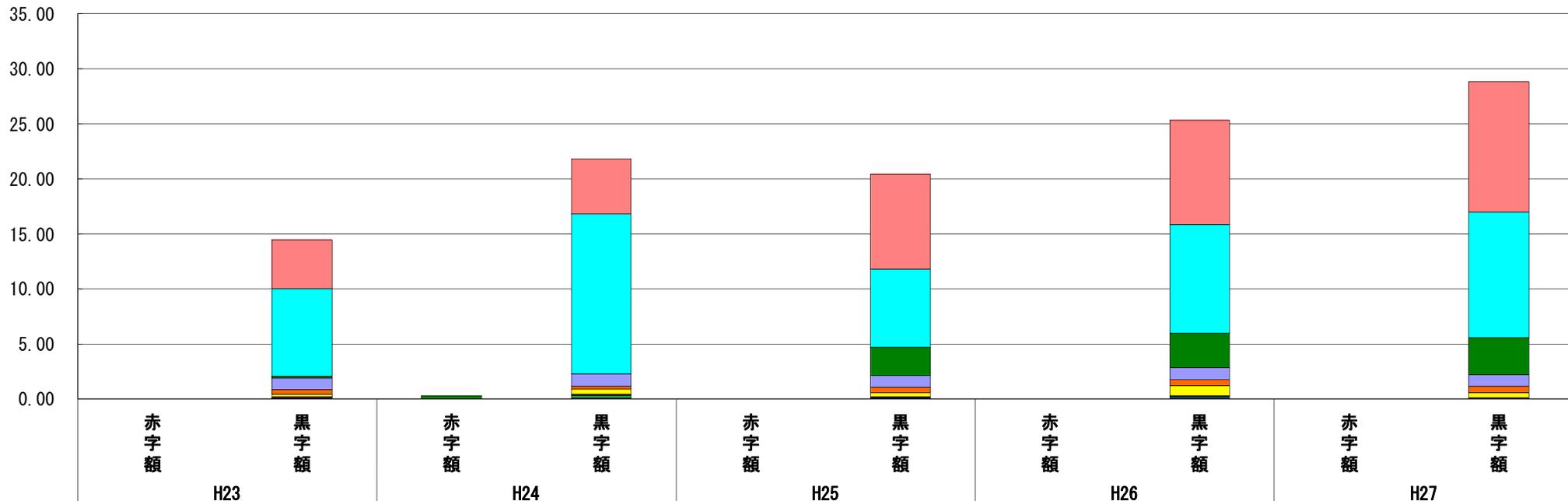
実質単年度収支については、H22、23、25、26年度において教育施設等整備事業基金や工業用地造成事業償還基金等の積み立てを行い、将来の財政負担を見通した運営を図ってきた。また、H27年度においては、国民健康保険特別会計財政支援として、財政調整基金を取り崩したことがマイナスの要因として挙げられる。今後も、市の自主的財政健全化計画を堅持し健全な財政運営に努める。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成27年度

福島県本宮市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H23	H24	H25	H26	H27
水道事業会計		4.45	5.01	8.58	9.45	11.79
一般会計		7.95	14.55	7.09	9.85	11.41
国民健康保険特別会計 (事業勘定)		0.17	▲ 0.29	2.58	3.17	3.37
工業用地造成事業特別会計		1.05	1.08	1.08	1.07	1.05
介護保険特別会計 (保険事業勘定)		0.43	0.28	0.50	0.56	0.61
公共下水道事業特別会計		0.19	0.46	0.33	0.90	0.47
国民健康保険特別会計 (直診勘定)		0.11	0.11	0.07	0.07	0.07
農業集落排水事業特別会計		0.01	0.21	0.04	0.10	0.03
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.12	0.12	0.13	0.14	0.01

分析欄

平成27年度決算において、普通会計、特別会計、企業会計すべての会計が黒字である、今後も収支均衡のとれた財政運営を行い、全会計の当該比率の健全値を維持する。

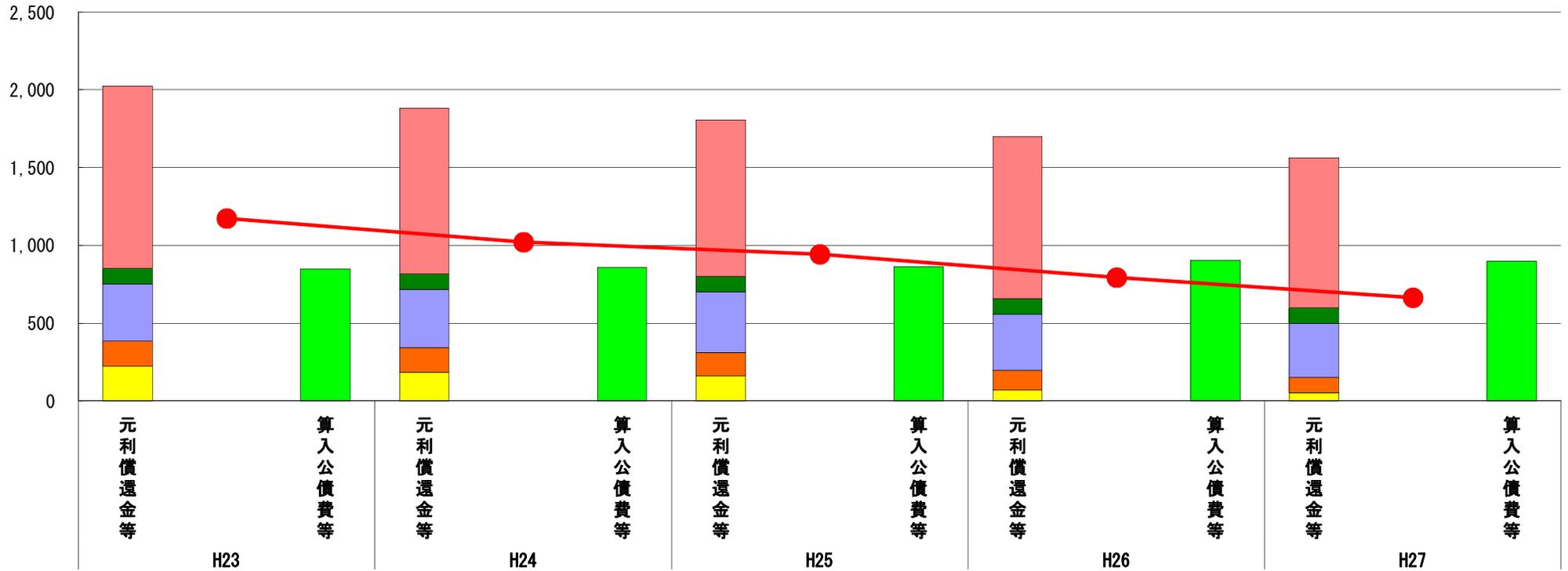
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

福島県本宮市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等(A)	元利償還金		1,172	1,063	1,004	1,041	963
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		100	100	100	100	100
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		365	375	390	361	347
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		165	160	148	124	100
	債務負担行為に基づく支出額		222	183	163	72	53
	一時借入金の利子		0	0	0	0	0
算入公債費等(B)	算入公債費等		851	860	861	905	898
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,173	1,021	944	793	665

分析欄

市の自主的財政健全化計画に基づき、計画的に償還を行うことにより平成23年度から償還金の額が減少している。
 債務負担行為についても新たな設定を抑えていることから支出額が減少している。
 今後も、自主的財政健全化計画を堅持し計画的な市債の発行と債務の償還により健全な財政運営に努める。

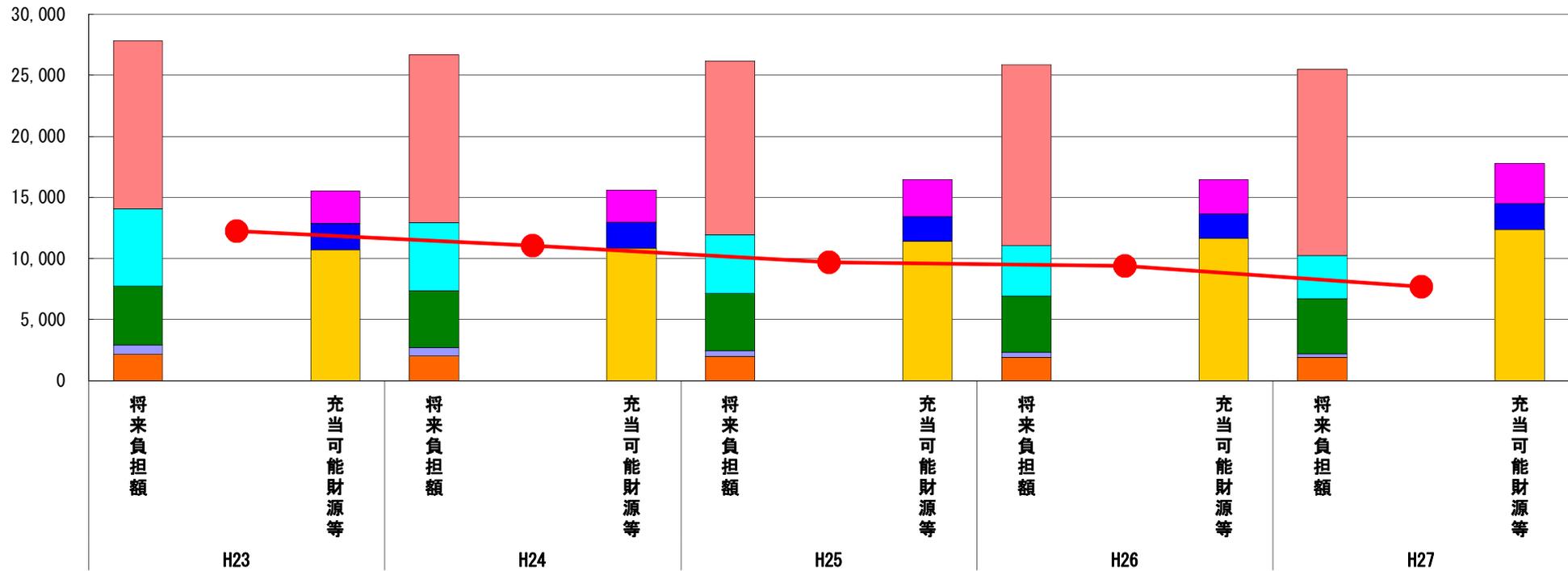
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

福島県本宮市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		13,721	13,730	14,222	14,829	15,229
	債務負担行為に基づく支出予定額		6,356	5,576	4,797	4,090	3,534
	公営企業債等繰入見込額		4,784	4,660	4,680	4,597	4,472
	組合等負担等見込額		769	659	476	422	317
	退職手当負担見込額		2,176	2,049	2,006	1,931	1,915
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,646	2,644	3,025	2,827	3,285
	充当可能特定歳入		2,168	2,120	2,046	1,997	2,131
	基準財政需要額算入見込額		10,726	10,844	11,410	11,659	12,361
(A) - (B)	将来負担比率の分子		12,267	11,066	9,700	9,386	7,690

分析欄

市の自主的財政健全化計画を順守し、計画的に債務の償還を行っており、その結果、債務負担行為が着実に減少している。

これにより、将来負担比率の分子は、前年度対比で減少しているが、依然将来負担比率が高い数値となっていることから、今後も自主的財政健全化計画に基づき、計画的な市債の発行と債務の償還により健全な財政運営に努める。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成27年度

福島県本宮市

人口	30,760	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	30,617	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	88.02	km ²	実質公債費比率	11.1	%
歳入総額	27,543,813	千円	将来負担比率	106.0	%
歳出総額	26,368,648	千円	市町村類型	H23 I-1 H24 I-1 H25 I-1	
実質収支	924,798	千円	(年度毎)	H26 I-1 H27 I-2	
標準財政規模	8,143,887	千円			
地方債現在高	15,229,235	千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値

- ※ 有形固定資産減価償却率は平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成28年10月1日時点で統一の基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

<p>有形固定資産減価償却率</p> <p>有形固定資産減価償却率 [-]</p> <p>類似団体内順位: -/-</p> <p>全国平均: 55.6</p> <p>福島県平均: 50.2</p> <p>固定資産台帳整備中・未整備</p>	<p>債務償還可能年数</p> <p>債務償還可能年数 [-]</p> <p>全国平均: 22.9</p> <p>福島県平均: 0.0</p> <p>財務書類作成中・未作成</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

将来負担比率と有形固定資産減価償却率の推移

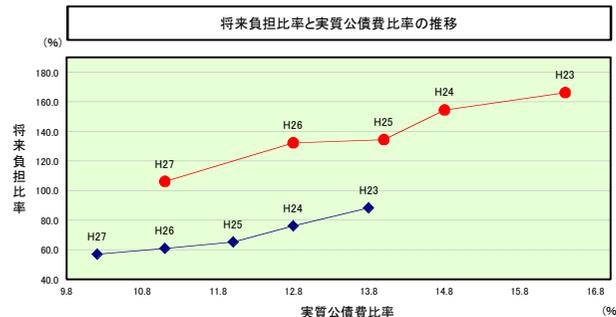
固定資産台帳整備中・未整備

分析欄

(参考)

		H23	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率	/	/	/	/	/
	有形固定資産減価償却率	/	/	/	/	/
類似団体内平均値	将来負担比率	/	/	/	/	/
	有形固定資産減価償却率	/	/	/	/	/

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄

市の自主的財政健全化計画に基づき、計画的に償還を行っており、将来負担比率については前年比26.1ポイント減、実質公債費比率については、1.7ポイント減となっている。債務負担行為についても新たな設定を抑制している。今後も、自主的財政健全化計画を堅持し計画的な市債の発行と債務の償還により健全な財政運営に努める。

(参考)

		H23	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率	166.2	154.3	134.5	132.1	106.0
	実質公債費比率	16.4	14.8	14.0	12.8	11.1
類似団体内平均値	将来負担比率	88.3	76.2	65.3	60.8	56.8
	実質公債費比率	13.8	12.8	12.0	11.1	10.2

(12)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成27年度

福島県本宮市

人口	30,760	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	30,617	人(H28.1.1現在)	過剰実質赤字比率	-	%
面積	88.02	km ²	実質公債費比率	11.1	%
歳入総額	27,543,813	千円	将来負担比率	106.0	%
歳出総額	26,368,648	千円	市町村類型	H23 I-1 H24 I-1 H25 I-1	
実質収支	924,798	千円	(年度毎)	H26 I-1 H27 I-2	
標準財政規模	8,143,887	千円			
地方債残高	15,229,235	千円			

※平成26年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄

(12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

平成27年度

福島県本宮市

人口	30,760	人(H26.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	30,617	人(H26.1.1現在)	繰上実質赤字比率	-	%
世帯	88,02	世帯	実質公債費比率	11.1	%
歳入総額	27,543,813	千円	将来負担比率	106.0	%
歳出総額	26,368,648	千円	市町村類型	H23 I-1 H24 I-1 H25 I-	
実質収支	924,798	千円	(年度毎)	1	
標準財政規模	8,143,887	千円			
地方債残高	15,229,235	千円			

※平成26年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄